

進路だより春休み号

福島県立猪苗代高等学校

2015 (H27) 3・20

～もうすぐ新学年～

3月20日。今日は終業式です。そして、あと半月ほど経てば、みなさんは新学年になります。新学年の準備はもうできているでしょうか？新3年生は、早いもので進路決定の時期が近づいてきました。目標とする進路は見えていますでしょうか？進学・就職で他校の生徒と競争できる実力は身に付けられたでしょうか？新2年生は、猪苗代高校の中心になり、修学旅行などの大きな学校行事も控えています。そして、1年後の進路実現に向けて自分の実力をつける時でもあります。しっかりと準備をして、新学年を有意義に過ごせるようにしましょう。



【人事部の告白！有力企業が欲しい人材「6つの能力」】（PRESIDENT Online より）

最近の企業の採用は、売り手市場とは言いながら学生に対する視線は依然と厳しいもので、ハードルが高く設定されています。出身高校が問題とされるのではなく、とにかく優秀な人材を探しだそうとする傾向が強まっています。

本書では、新卒人材に求める資質・能力とは何かをまとめています。基本的には不況期、好況期に関係なく企業が求める人材の能力は何なのでしょう。



☆企業が欲しい6つの能力

- (1) **チャレンジ精神** (変革する力、バイタリティ)
- (2) **チームワーク力** (共感力、チーム志向)
- (3) **コミュニケーション力** (論理的思考、伝える力)
- (4) **リーダーシップ力** (周囲を巻き込む力、主導力)
- (5) **主体的行動力** (自律的アクティビティ、やりぬく力)
- (6) **グローバル素養** (異文化受容力、語学力)

(1) チャレンジ精神 (変革力)

「既存の伝統や価値観を所与のものとせず、顧客の嗜好やニーズを先取りし、常に変革を志向する人材」 (ホテル)

「結果を恐れず信念を持って仕事に取り組める人」 (化粧品)

「強い思いと迅速な行動で変化に挑む人」 (石油)

「何事にも臆することのない器量、度胸、肝が据わった“胆力”のある人」 (放送)

(2) チームワーク力

「単なる迎合ではなく、チームの中で自分の果たすべき役割を持ち、仲間と共に目的を達成できる人」 (通信)

「個々人が高度の専門性を持つプロ集団の一員としての自覚を持っている」 (建設)

「周囲の話に耳を傾け、積極的に学び取ろうとする意欲を持った人」 (自動車)

(3) コミュニケーション力

「愛想が良いとか人あたりが良いというだけではダメだ。相手にどう伝えるのか、論理的思考力に裏打ちされた説明能力のある人」 (鉄道)

「自律性を持って顧客や社内の人間と会話や議論ができる人」 (通信)

「自分が信じる価値を人脈・ネットワークなどあらゆる手段を使って、その価値を認識してもらいようにする人」 (旅行)

「ホスピタリティ (心のこもったおもてなしの心) を備えた人」 (ホテル)

(4) リーダーシップ力

「その中で相手の信頼を勝ち得て、事業を切り開く能力がリーダーシップだ」 (商社)

「他者の価値観を尊重し、謙虚に他人の意見に耳を傾け、周囲を巻き込みながら仕事を進めていける人」 (自動車)

(5) 主体的行動力

「困難に遭遇しても決して逃げない、自ら飛び込んでなんとか解決してやろうという意気込みを持った人」 (情報)

「お客様のニーズや要望を聞き取り、言うことが正しいと確信したら、たとえ上司が異論を挟んでも、自分が正しいと思う顧客の意見を貫ける人」 (銀行)

「何をすればよいのか自らじっくりと考える思考力を持ち、それを実現する行動力のバランスを兼ね備えた人」 (百貨店)

「常に前向きに行動し、失敗したら解決するために勉強すること。生涯学ぶ姿勢を持ち続けられる人」 (石油)

(6) グローバル素養

「どんな国・地域に行っても商談をまとめてくるタフネゴシエイター」 (商社)

「TOEICなどの英語力の点数が高くなくても、様々な国・人種の考え方を受け入れ、融合していけるセンスやスキルを持つ人」 (化粧品)

「アジアの山奥や中東に行っても相手と交渉するなどのハードワークに耐えられる人」 (SE)

企業が求めるものは様々です。一気にすべてを身に付けるのはまず不可能です。そのため、時間をかけて、今のうちから自分の武器になるような力をしっかりと身に付けておきましょう。

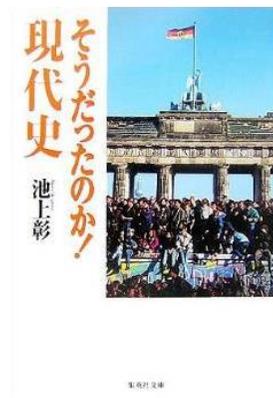
春休みは本を読もう！

本校の春休みは3/21（土）～4/7（火）までです。短いと思うかもしれませんが、この中で新学年の準備をしなければなりません。課題や部活動、旅行等もあるとは思いますが、ぜひ時間のあるうちに読書をして、自分の知識や人間性を豊かにしておきましょう。

【参考図書】

①池上彰『そうだったのか！現代史』（中公文庫）

民族紛争によるテロ事件、混迷をきわめるパレスチナ問題、北朝鮮問題など、日々世界中から伝わってくるニュースの背後には、事件に至るまでの歴史がある。そして、その少し前の歴史を知っていれば、ニュースが鮮明になり、世界が読めてくる。「知らない」ではすまされない現代史の基礎知識を、ジャーナリスト池上彰がわかりやすく解説する、現代史入門の決定版。最新情報を加筆し、ついに文庫化！



②長谷部誠『心を整える。勝利をたぐり寄せるための56の習慣』（幻冬舎）

『心は鍛えるものではなく、整えるものだ。いかなる時も安定した心を備えることが、常に力と結果を出せる秘訣だ。自分自身に打ち勝てない人間が、ピッチで勝てるわけがない。』

日本代表キャプテンとして、チームを勝利へ導いた男の実践的メンタルコントロール術。



③百田尚樹『ボックス！』（講談社文庫）

天才 vs 努力家

性格は正反対。二人の幼なじみの共通点は「ボクシングが好き」。それだけ。

いま最も日本人を感動させている作家、唯一無二の青春小説！

④百田尚樹『永遠の0』（講談社文庫）

この小説のテーマは「約束」です。

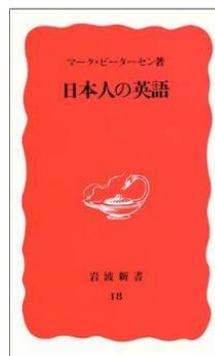
言葉も愛も、現代（いま）よりずっと重たかった時代の物語です。



⑤マーク・ピーターセン『日本人の英語』（岩波新書）

“I like dog.”と言ったら「えっ、犬の肉が好き!？」

どういう論理や感覚が英語表現を支えているのか。著者が出会ってきた日本人の英語の問題点を糸口に、従来の文法理解から脱落しがちなポイントをユーモア溢れる例文で示しつつ、英語的発想の世界へ読者を誘う。



⑥佐藤優

『読書の技法 誰でも本物の知識が身につく熟読術・速読術「超」入門』（東洋経済新聞社）

- ・読書に慣れている人でも専門書は月3~4冊しか熟読できない
- ・速読が熟読よりも効果を挙げることは絶対がない
- ・基礎知識は熟読によってしか身につけることはできない
- ・知らない分野の本は超速読も速読もできない
- ・基礎知識をつける場合、あまり上級の応用知識をつけようと欲張らない
- ・体系知を身につけるための参考書などというものは存在しない
- ・知識は一定の熟成期間を置いた後にしか身につかない



⑦水野敬也『あなたの物語 人生ですべきたった一つのこと』（文響社）

前作「それでも僕は夢を見る」より1年、水野敬也と鉄拳のコラボレーション作品第二弾が完成。今回、物語はあるレースから始まります。様々な障害を乗り越え、たった一人の勝者を決めるための過酷なレース。その果てに「私」が教えてくれる「人生ですべきたった一つのこと」とは？
日常の景色をガラッと変え、生きるパワーを与えてくれる作品。



⑧増田寛也『地方消滅 東京一極集中が招く人口急減』（中公新書）

このままでは896の自治体が消滅しかねない――。

減少を続ける若年女性人口の予測から導き出された衝撃のデータである。

若者が子育て環境の悪い東京圏へ移動し続けた結果、日本は人口減少社会に突入した。多くの地方では、すでに高齢者すら減り始め、大都市では高齢者が激増してゆく。豊富なデータをもとに日本の未来図を描き出し、地方に人々がとどまり、希望どおりに子どもを持てる社会へ変わるための戦略を考える。

⑨ジュディ・ダットン

『理系の子 高校生科学オリンピックの青春』（文春文庫）

科学は、こんなにもおもしろい。

